

平成29年

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会

11月6日

豊明市議会

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会
会議録

平成29年11月6日

午前10時00分 開会

午前10時53分 閉会

1. 出席委員

委員長	杉浦光男	副委員長	村山金敏
委員	富永秀一	委員	後藤学
委員	郷右近修	委員	清水義昭
委員	近藤ひろひで	委員	宮本英彦
委員	ふじえ真理子	委員	近藤善人
委員	鶉飼貞雄	委員	毛受明宏
委員	近藤千鶴	委員	早川直彦
委員	山盛さちえ	委員	近藤郁子
委員	三浦桂司	委員	一色美智子

2. 欠席委員

委員	蟹井智行	委員	月岡修一
----	------	----	------

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石川晃二	議事課長	鈴木美智雄
議事担当係長	水野美樹	議事課主事	荻正幸

4. 説明のため出席した者の職、氏名

なし

5. 傍聴者

なし

午前10時開会

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 定刻に御出席いただきまして、ありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会を開会いたします。

蟹井委員は、きょうは欠席であります。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

これより本日の会議を開きます。

それでは、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

1、講演会についてを議題といたします。

講演会につきましては、日程等を協議会及び正副委員長会で調整をさせていただきました、11月18日土曜日の午後2時より勤労会館で開催します。いろいろと調整をさせていただきました、ありがとうございました。

この日は議会報告会の中で開催し、第1部として、午後2時から午後3時20分ごろまで講演会を実施するものであります。講師については、愛知学院大学法学部の小林明夫教授です。演題については、住民自治と議会をお願いしてあります。

内容につきましては、議員定数・報酬の根本にあるものを含めてお話をいただけるものと思っています。これは、資料ナンバー1の③、市民も含めた議会制民主主義のあり方についてを学習するの中の講演会等を開催、その後、市民と意見交換という項目に位置づけられております。資料のナンバー1は皆さんお持ちですので、ここで確認していただければありがたいと思います。

7月に実施した広聴会で、市民と意見交換やアンケートを実施しました。アンケートにつきましても、③の中の項目に位置づけられております。

今回も、講演会を実施後にアンケートを実施したいと思いますが、よろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 異議なしと認めます。それでは、アンケートも実施することといたします。

アンケートについては、さきの協議会で、案を鶴飼委員と富永委員に作成をお願いして、本日机上に配付してありますので、作成者より簡単に説明をお願いいたします。

富永委員。

○富永秀一委員 資料の裏のほう、裏面のほうが議員定数と報酬になっておりますので、

ごらんください。

これは、以前の広聴会のとくと似ている部分が多いですが、後半、少し変えてあります。

設問の8として、議員……。その前に、豊明市議会では、現在特別委員会を設置し、議員定数・報酬について検討しています、皆さんはどのようにお考えでしょうか、御意見をお聞かせくださいとまず部分がありまして、その後、設問の、これが8番目になります。表とつながっての8番目になります。議員定数をどうするとよいと思いますかで、ふやす、現状維持、減らす、わからない、そのようにお考えになる理由をお聞かせください、また、ふやす、減らすとお答えの方、具体的な人数もお考えであればお答えくださいということ、何人と記入することになっております。

また、議員報酬をどうするとよいと思いますかということ、ふやす、現状維持、減らす、わからない、そのようにお考えになる理由をお聞かせくださいと自由記入欄もあります。そして、ふやす、減らすとお答えの方、具体的な金額もお考えであればお答えくださいということ、月額幾らと記入できるようになっております。

設問、先ほどが9で、次、10です。議員定数、議員報酬について、本日の講演をお聞きになって考え方は変わりましたか、この部分が広聴会とは変わってきております。変わった、変わらなかった、わからない、変わった方はどのように変わったかお聞かせくださいと自由記入欄もつくっております。

そして、11番目、その他、本日の講演について、御意見、御感想がございましたらお聞かせくださいということ、自由記入欄がつくっております。

最後は、全体としての注意書きで、お帰りの際、受付のアンケート回収箱にお入れください、御協力ありがとうございますと書いてあります。

以上です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） アンケートの内容については、この内容で……。

ごめんなさい、このアンケートについて、何か意見はありますか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 議員報酬のアンケートのところの具体的な金額、月額というところが、いわゆる期末手当、中間手当のところの、これ、何かもう一個、現状は幾らって出るのでよね、現状幾らという、資料としては。要は比較できない、いわゆる今が幾らで、中間・期末手当が幾らでというところがあって、月額幾らというお考えを聞くというのならわかりやすいと思うんですけど、例えばトータルで、私たち議員が年間これだけの手当をいただいていますというところで、じゃ、年間幾らというふうがいいのかというのが逆に

わかりやすいのかなともちょっと思ったものですから。いわゆる現状をどういうふうに説明して、どういうふうに具体的なお考えをお聞きするのかというところが、ちょっとわかりにくいかもしれないと思うんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 広聴会の際に、資料を配布しましたね。この報告会について資料をどうするかというのは議論していなかったような気もしますが、今の御指摘もありますので、資料は配布をしたほうがいいのか。

その上で、ここを月額と書くかどうかというところですが、総額を書きたい人は自由記入欄に書いてもらうという、もしくは、消して年額としてもらうか、月額が、やはり考えるに当たっては比較もしやすいですし、総額よりも月額と書いておいたほうが、記入はしていただきやすいのかなとは思っています。

（いいですかの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 そうすると、前、資料ナンバー9で各市町のやつが出てきたのを一覧で出して、その月額だけについて判断してもらうと。ただ、ここには、いわゆる総トータルが出てないものですから、この資料の中で、じゃ、手当は、期末手当とかは幾らで、トータル議員さん幾らもらってるのというのは、わかってる人はわかってるだろうけど、わからない人は、40万5,000掛ける12かなというふうに思われるのかなと。490万くらいになるのかな。

（ここにあるの声あり）

○近藤ひろひで委員 ああ、それか、それだとトータルが出てる。そっちを出す。

（この表裏、要するに広聴会の際と特に変わってるわけではないのでの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それじゃ、指名します。

○富永秀一委員 資料ナンバー9の報酬のところには、期末手当を含む年額も出ておりますので、同じものを配布すれば参考にはなるのかなと思います。

（期末手当を含むね。議長、副議長、このままの資料を出すということだねの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 その場合、広聴会の際にはこの資料について説明をしましたが、今、報告会においてその時間はとってないので、それをどうするかという問題は出てくるかと思えます。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 課題というふうに考えてもよろしいですが、どういうふうに解決したらいいと思いますか。

ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 設問の8、9は、例えば議員定数の後に（現状20）、9番、議員報酬（月額40万5,000円）というふうに、アンケートのほうの設問に具体的な数字を入れれば、とりあえずわかりやすいんじゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。このアンケートの……。

（これは配らずということですかの声あり）

○近藤ひろひで委員 これは配るにしても、これだけ見ても現状が20で、現状が40万5,000円だってことをここに明記する分には差し支えないのかなと。せっかくならつくってもらって、あんまりわあわあ言っちゃいけないんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 課題の解決というか、1つの方法として、ひろひで委員のほうから今のような御意見が出ましたが、どのように思われますか。

富永委員。

○富永秀一委員 そういうことであれば、講演の中で、豊明の定数であったり月額報酬は言っていたのではないかなというふうにも思いますが。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） その件について言えば、それはちょっと未定というか、わからないし、講演者にこれを入れてって要求することはちょっと失礼かなというふうには思いますけどね。どうでしょう。

清水委員。

○清水義昭委員 アンケートを書くに当たって、現状をアンケートを書く人が知るという意味では、アンケートのほうに——ひろひで委員、今、言われてたんですけど——入れてもいいのかなというふうに思うんですけど、いかがですかね。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 早川委員。

○早川直彦委員 議会報告会が、第1部、正副、後から言おうかなと思ったんですけど、司会を担当する、今のところ私がやるということになってるんですが、その中で、1部が終わったときにアンケートのお願いをしますので、そのときに簡単に説明をして、協力願いますというところで、そこで、現状、20人とか、報酬がというのを一言添えてということも可能だと思うんですが。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そういう意見がございましたが、どうでしょう。これに、近藤ひろひで委員のほうから提案があった、これに書くということについてはどうでしょう。何か問題が残るか残らんか。

どうぞ。富永委員。

○富永秀一委員 簡単な説明があるということであれば、これをまず、配るか配らないか決まっていなくても、配るのであれば、簡単に説明があつて、詳しくはごらんくださいぐらいにしておけば、アンケート用紙には特に入れなくてもいいのかなど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 皆さん、いいですね。問題の所在はいいですね。

そうすると、アンケートに付随して、アンケートに添付資料として、前のときの報酬と定数が示されている資料を再度、今回つけるかどうかということについて、まず決めたいというふうに思います。つけるということになれば、つけたならこうだよ、つけないということになればこうだよというふうな考えも出るかもしれませんので、そういう進め方でよろしいですよ。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 参考資料としてはつけたほうがわかりやすいのかなと思いますので、先ほど早川委員に少し説明していただくということで、それはやっていただきたいというふうに思っています。

あと、アンケートの件に関しては、富永委員にもちょっといろいろと頑張つてつくつていただいて、できればさわらないほうがというふうに思う、そういう気持ちがあるんですけど、やはり来ていただいた方が余り詳しくない方もいるかなというふうに思いますので、先ほどの括弧書きで現状が幾ら、何人というのも追加記入していただくともう少し丁寧なのかなという気はしますので、私はそういうふうに思います。

（そうしたら、もう一回開かんといかんことになるのの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ちょっと待ってね。それじゃ、指名されてから。

ちょっと整理しますと、まず、アンケート用紙に定数と報酬が記載された以前に使った資料を添付するかどうか、つけるかどうか。つけるというか配るということだよ、それはね。どうですか、その件について皆さんに決めていただいてよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それじゃ、それをつけたほうがいいと思われる方。

（賛成者挙手）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ありがとうございます。それじゃ、以前の定数と報酬について示された資料を配るということにいたします。

じゃ、その上で、これに書くか書かんか、それから、早川委員のほうから、司会がそこで説明するかどうかという問題が2つ出ております。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 今ここでちょっとどうするべきかなって。これは議会で報酬を決めれるか決めれないかということで、報酬審議会とかがあって決まっていたと思うので、私たちがふやすのか決めていいのかどうなのか。今のことで、もともとこの設問がちょっと微妙だねというようなニュアンスがあったので、それだけどうしたものかなと、今、どういう設問がいいのかなというふうなことで、今ちょっと思っています。

(9番の声あり)

○近藤郁子委員 9番ですね、今のことですよ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 現在の報酬については審議会が決まった額ですので、それは問題ないですよ。それから、この説明については、前の協議会では大体これでいいだろうという、大体というかこれでいいだろうということになりましたが、皆さんがここで再度、どうしてもこういうふうに変更したほうがいいということが、ここで総意で決まれば、委員会ですのでそういうふうにはできるとは思いますが、そのこのへんもしんしゃくしながら御発言願いたいと思います。

富永委員。

○富永秀一委員 8、9については、広聴会で配ったときの資料と変えておりませんので、内容については、その前の説明も。なので、その部分をまたここで改めて議論する必要があるんだろうかというふうに思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そういうことだね。

今の富永委員は、資料をつければ、あと説明したりとか、早川委員からあったように説明したりとか、そういう、それから、報酬については、報酬審議会の件についてというような説明は不要であるという。

ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 個々意見あると思います。ただ、これ、アンケートなので、こういう設問で私はいいと思いますが、早川委員が口頭でも説明していただくか否かをまず諮っていただく、私が提案したここに括弧書きで現状を入れる入れないを2つに分けて、皆さんの賛否をとっていただければいいんじゃないですか。委員会の中の訂正ということであれば、ここで皆さんの御承認が得られれば進められると思いますけれどね。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) それでは、今、ひろひで委員のほうから提案のありましたように、今、2つの意見、早川委員から司会者がそこで

説明するよと、それからもう一つは、協議会で確認したアンケートについて、そこに一部つけ加えるよという、このことについて皆さんに聞いていきます。

まず、早川委員……。

ありますか、富永委員。

○富永秀一委員 この次の質問のときでもいいんですが、これは確認ですけど、ここで例えばこういうふうに変えるというのを決めたら、それを、変わったものをもう一度委員会に諮る必要はないですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それは必要ないんじゃない。ここ、委員会なので。

（文言まできちんと決めれば大丈夫ですかねの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ここで、この委員会で決まれば、それは次の委員会に諮る必要はない、この委員会で決まったわけですので、委員会の決定事項ということになると思います。

それじゃ、早川委員の、司会者が途中で説明したらどうだということについては、賛成の方、挙手願います。

（賛成者挙手）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 賛成多数ですので、説明の位置だとか、どこで説明するかとかいうことについては十分検討して、くどくならないように、それが中心ではありませんので、よろしく願いいたします。

それでは、ここに書くか書かんかということについては、アンケートに記述、プラスして記述するかどうかということについて採決します。

記述したほうがいいという方。

（賛成者挙手）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 賛成多数ですので、記述することにします。作成者には非常に申しわけありませんが……。

（いいですかの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どうぞ。

○近藤ひろひで委員 じゃ、委員会ですので、具体的にどのように記述するかというところで案を申し上げますね。

8番の議員定数の後に（現状20人）を入れる、それから、9番の議員報酬のをとの間に（月額40万5,000円）を入れるという案でいかがでしょうか。

（現状は入れないのの声あり）

○近藤ひろひで委員 現状だ、ごめんなさい。現状月額、もう一回言いますね。議員報酬（現状月額40万5,000円）を入れると。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） その件について御意見のある方。

富永委員。

○富永秀一委員 細かいですけど、現状の後、半角、入れます。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 半角でね。

そのほかに御意見ありませんか。

（進行の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、そこに記述するということと、その記述の仕方、近藤ひろひで委員のほうから提案がありました、括弧で現状を記述するという、そういうことでよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

このほか、このアンケートについて何か御意見ありますか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。

（済みませんの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 このままでもいいかなとも思うんですけど、10番の設問の仕方なんですけど、前回、これ、ずっと見たときに、うーんとちょっと一瞬思ったので、ほかの方が気にならなければいいんですけど、考え方が変わりましたかという聞き方は、何かちょっと誘導的かなと。講師の話聞かせて、それで、皆さんが話をよくわかって考えが変わりましたかって言うような、ちょっと誘導的なようなイメージが僕の中ではちょっとあったので、それ、ちょっと気になったんです。例えばもうちょっとニュートラルに、本日の講演をお聞きになって印象に残ったことは何ですかとかというようにぐらいにしておいたほうがいいのかないかなというのがちょっと気になりました。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 後藤委員のほうから、記述の方法、記述の内容について少し……。

（ちょっと、もうちょっとの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 この先生がどんなお話をされるかわからないんですけど、前、ここでも

議論があったように、どんな先生を呼んでもその人のカラーがあってというような話がここであったものですから。そうすると、今度の講演会で話を聞いたというのは、1つの意見を聞いたということにすぎないということになっちゃうものですから、それで変わってほしい、皆さん変わりましたかみたいなふうにとられかねないかなとちょっと、答える側がちょっとどうかと思ったんですけど。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） この点についてどうですか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今回の講演会の企画に当たって、議論が深まるとかいう言葉を使っていたように思ったので、変わるんじゃなく、例えば、考えは深まりましたかとかではどうですかね。言葉尻で気になるということであれば。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 私は、もう設問、このとおりで、11番がありますので、個人的な意見があれば具体的に書いていただける欄がありますので、今、後藤委員がおっしゃったところ、10番、変える必要があるのかないのかをもう皆さんに聞いていただいて、必要があるという方が多ければ設問を考えるということではいかがでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 10番については、今回の先生が定数と報酬のことだけお話をされるのではないというふうには題名からも伝わってくるんですけども、報酬と定数については8番、9番でもう既に聞いているので、ここで新たに定数・報酬についてという講演に、変わったか変わらなかったかって、あえてもう一度聞くことが必要なのかどうなのかって思っていて、もし聞くんだったら、議会について、本日の講演をお聞きになって考え方は変わりましたかぐらいのほうがいいんじゃないかと思うんですけども。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今の郁子さんみたいにいろんな意見が、よーく読むとまた出てくるかもしれません。

この案は、原則として、この前の協議会で皆さんが読んで確認された内容ですが、これ、読めば読むほどいろんな意味で難しい問題かもしれませんが、微妙に文章を変えたほうがいいぞというような御意見があるかもしれませんが、そこら辺はさじかげんの問題というふうに考えていただいて、判断していただけたらいいなど。まだそれ、協議会で確認している内容ですので、よろしく願いいたします。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 今、ちょっとこうしたら

というような意見が、後藤委員、それから、郷右近委員、近藤郁子委員から出ましたが、それをひっくるめて、このまま現状でいいか、もう変えるなら変えるというふうに、変えたほうがいいのかということで、二者択一で聞いていきますよ。

それじゃ、現状のほうからいきます。

現状でよろしいという人。

(賛成者挙手)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 多数でありますので、このままでいきます。協議会のとおりです。協議会で話し合ったとおりにいたします。

そのほか、御意見ありませんか。

(進行の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、アンケートについてはこの内容で……。

早川委員。

○早川直彦委員 済みません。

講演会なんですけど、講演会のアンケートではないところの部分については、その他のほうがよろしいですか。講演会のアンケートについては議題に上がっていますが、講演会のアンケートでない部分についての質疑は、その他のほうがよろしいでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それじゃ、その他にしてください、ありましたら。いいでしょう。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、ないようですので、アンケートについてはこの内容でよろしいですね。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 御異議なしと認めます。御異議ありませんので、この内容でアンケートを実施します。

また、アンケートの集計については早川委員にお願いすることとし、委員の皆さんはお手伝いすることよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 早川委員、御足労ですがよろしく願いいたします。

続いて、議題の2、今後のスケジュールについてを議題といたします。

この特別委員会も、講演会を終えますと、まとめに入っていきたいと思います。

今後のスケジュールについては、細かいスケジュール、委員会をいつ持つか、協議会をいつ持つかということについては、この後の協議会で決めたいと思います。日程等の資料も一部つくってあります。

ですが、この委員会で決めていただきたいのは、決めていただきたいというか確認をしていただきたいのは、とにかく定数・報酬の特別委員会は12月で閉める、言うなれば定例会中に閉めるということは、前の協議会でも一応確認されております。そういうことよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 御異議なしと認めま……。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 早川委員。

○早川直彦委員 パブリックコメントを例えばやるとかというようになると、委員会を閉めちゃうと、誰が回答するのかというふうになると考えるんですが、委員会がなければ答える人が……。いや、勝手に指さされてもいけないと思うんです、委員会で回答するというふうにしないといけないと思いますので、その辺はどう考えたらよろしいのでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 あくまで委員会として、我々の考えというか方向は、12月中に一回閉めさせていただくと。特別委員会は、まだ解体しなければいいんじゃないですかね。そうすれば、まだその後にでも、1月でも2月にでもパブコメ、もしやることになった場合でも対応はできるかと思うんですが。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) ごめんなさい、私聞き漏らしてしまいました。

(発言する者あり)

○鵜飼貞雄委員 我々の特別委員会としての方向性を示すというか考えのフィックスはあくまで12月いっぱいというふうにもう決めさせていただいて、委員会自体はまだ存続させておけば、その後、もし1月以降とかにでもパブリックコメントの必要性が出てきた場合にも対処できると思いますが、どうでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) いや、ちょっと待ってくださいね。私が切り出して皆さんに投げかけたのは、とにかく委員会を12月で終わると。それは、今、鵜飼委員のような考え方もできるかもしれませんが、私が投げかけたのはそういうことです。12月中に終わる、委員会を。

宮本委員。

○宮本英彦委員 12月いっぱいまで特別委員会を閉じるということの今提案をされているんですけど、当初の確認は、12月までに結論を出すというのが当初の確認であったと思っています。ですから、特別委員会を閉じるとか閉じないとかいうことは別問題で、12月末までに結論を出すと、それが確認だというふうに私は認識しているんです。

委員会を閉じるか閉じないかというのは、スケジュール感がきちっと出ないことには、先ほどパブコメの取り扱いとかそういうのありますので、その中で一緒に、じゃ、委員会はこのときで閉じてもいいねと、そういうのが示されない限り、委員会だけ先に閉じますという提案は、私はちょっと理解できないね。閉じるというのは、あくまでもやはり閉じるということじゃなくて、結論は12月末までに、定数や報酬の結論を出す。

以上です。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どうぞ。近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 閉じる閉じないというところですけど、一応4月19日の資料で、12月議会に条例改正が必要であれば提出するという事に決まっていたと思いますので、それを踏まえて、今、進んでると思っています。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 12月議会で条例改正が必要なら出すということで、それを前提にすれば特別委員会を閉じてもちろんいいんですけど、今の日程、スケジュール感からいけば、12月議会に条例改正案が出せるかどうかということのスケジュール感がまずないと議論ができない。だから、今、示していただければ、この委員会で議論ができる。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 済みません、それでは、協議会でやろうと思いましたが、それを配ってください。

（事務局資料配付）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、宮本委員のほうから、閉じるか、それともまとめを出すかということの異同について、ちょっと異議とか質問とか、そういう点がありましたので、次の協議会で詳しく協議しようと思ったスケジュールですが、一応説明させていただきます。

11月18日議会報告会、11月21日協議会、12月7日委員会、それから12月14日協議会、12月18日委員会、最後の委員会は報告書の作成、皆さんで確認する報告書の作成、それから、その報告書をもって12月21日最終日に報告。以上です。

あわせて、議会の行事予定表も、もう皆さん持っているものですが、配付させていただ

きましたので、これとあわせて見ていただくとよろしいかというふうに思います。

それで詳しい日程等については、皆さん、よろしいですか。この日程については協議会でももうとって思っていましたので、日にちが前後する、協議会でやったら、私のほうが提案した日程はまずいよと、もう一日下げろとか上げろとかいう課題は出てくると思いますが、このとおりにはいかないと思いますが、一応流れとしては、今、示したとおりであります。

それじゃ、よろしいですか。次に行きますよ。

そうすると、私のほうから、12月に閉じるということを前提でお話ししましたが、12月にまとめて委員会、まとめて結論は出すんだけど、委員会そのものは閉じないよと、そういう2つの御意見です。委員会を閉じる、それから、委員会そのものは閉じない。だから、共通してるのは12月にまとめると、これは12月にまとめて報告すると。これは、先ほどのこの場で確認をさせていただきました。

私の今言ったことに問題ありますか。まとめるのは12月、これは2つの意見があっても共通項ですね。委員会を閉じるか閉じないか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 ここに条例というような言葉が入ってきてないので、すなわち、そのパブリックコメントも入ってきていませんが、12月18日の委員会の報告書の決定ですよ、この日に決定する。その段階で条例の必要性もここで明確になるという、そういうことをイメージしていらっしゃるのでしょうか。となると、議会で一応決定をする、その3日後にもう上程してしまうのか、それともそこからパブリックコメントをやるのかによって、閉じていいか悪いかも決まってくるので、仮にこのハードなスケジュールのように進めたとしても、条例とどう絡めるかということが、また閉じるか閉じないかに関係してくると思うんですけども、委員長さんのお考えを教えてください。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ちょっと待つてね。

条例と絡めるか絡めんかという条例改正が必要だということになると、臨時議会か3月議会でないとだめということになりますが、条例改正ということになって条例改正を提案しようと思うと、委員会そのものが存続してないと提案できないということ、提案しておいて閉じちゃってだめということ……。ああ、あかんか。存続せにやいかん……。

（発言する者あり）

○宮本英彦委員 このスケジュール感を見ると、先ほどもちょっと言われたんですけど、報告書の作成を本会議の21日で確認をするという、そういう手続ですよ。ですから、報告書の内容によって、現状維持であるならこれで終わりだし、改正が必要だということ

あるのなら、そこから出発だと。そういう理解を私はしたんですけど、そういう理解じゃないんですか。そうでないとできるわけがないですよ。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 宮本委員のおっしゃることと同じことになると思うので、私がこれ、資料を見させていただいて感じたままを言いますと、12月7日の委員会で定数と報酬について委員間で諮るという意味合いであれば、ここで条例が必要なのか現状維持なのか、もしくはふえる、だから、3者のうちの、現状維持であれば、このスケジュールでいけるのかなど。現状維持じゃない、減るとかふやすとかいうところになると、その場でまた14日以降のスケジュールがひょっとしたら変わるのか、間に合う間に合わないということがありますので。

パブコメについては、例えば仮の話で、12月7日の委員会で現状だという判断が私たちの委員会の中では出たとすると、18日の委員会までにやっぱりある程度の、皆さんに開示するという必要があると思うんですね、どういうふうにするかと。ホームページ的にできるのか、そういうことは。どっちみち7日の結果を明らかにして、18日の委員会を迎えるという形になると。

4月19日の委員会で、12月中に結論を出すということになってるので、それ以降にスケジュールが延びるのであれば、もう一回委員会決定を訂正しないといけないと思うんですけど、これはどういうことになるのか、その扱いがね。委員会で決定してることをまた変更していくことが、皆さんの協議で可能なのかどうか。

大きく分けると2点なんですけど、7日に定数・報酬について賛否をとってある程度の目安が出るのかと。それ以降で条例の改正の必要性があれば、宮本委員がおっしゃるとおりで、非常にタイトなスケジュールになるのかなと思います。だから、私が思うのは、18、21、7日まではこのスケジュールでいけるのではないかなと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ちょっと私がもう一つ、自分のほうがつくった関係で提案しちゃいけません、12月7日の委員会、これを11月27日、この予定表で見て、そうすると1週間くらい繰り上がりますので、条例改正か何かがあっても……。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） だから、待ってください、パブコメをやるかやらんかということだけ、決めていただきゃいいよ。やるとしても、普通、豊明市の条例の場合、大体1カ月間くらいを、1カ月ぐらいを提示してますわね、ホームページで。けども、何でかんで1カ月提示しなくたって、やれば3週間でもいい

し、それは可能だとは思いますがね。

富永委員。

○富永秀一委員 本来、協議会でやろうと思っていた内容をもう委員会に持ってきているんですけど、これ、議事録をまたつくらないといけないし、大変ということもありますので、当初の予定どおり、スケジュールの詳しいことについては協議会にしたほうがよくないですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そうだね。

スケジュールについては、済みません、訂正しますね、協議会でやろうと思っていましたが、今出るような意見もちよっと想像はいたしました。ですので、この委員会をもう少し精査をしたいと思いますので、初めに戻ります。初めというか、スケジュールについては、この後の協議会でもう少し詰めたいと思います。

この委員会で確認していただくのは、先ほど確認、1個しましたよ。とにかく12月で最終の結論は出すと。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 富永委員。

○富永秀一委員 このスケジュールでいくのであれば、12月7日の定数・報酬についての結論が出た時点で、もう条例改正が必要だということがわかれば、その時点で、4月に決めた結論について変更するということを決めればいいのではないかなと思います。

今、協議会で12月14日報告書案の作成とか、12月18日報告書の作成となっているところを報告書案もしくは条例案の作成、報告書または条例案の作成というふうにしておいて、12月14、18で。条例案をつくったら、つくるのであれば、もうあとはパブリックコメントをやったりやらないといけないと思いますので、それは、もう自動的に3月上旬に向けてのスケジュールになってくる、パブリックコメントを1カ月やってとか、そういう形になっていくのではないかなと思います。

なので、この時点で、もし委員会として決めておかなければいけないということがあれば、例えばパブリックコメントをやるかやらないかとか、そこは決めておいたほうがいいのかなとは思いますが。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） そうだね。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 前回の協議会で委員長、副委員長に、このスケジュールを、日にち、出してもらおうということで、きょう。これ、まだ協議会の資料なので、まだ委員会中の資料じゃないと思うんですけど、ここのきょうの委員会の議題の中の2番については、今

後のスケジュールは協議会で諮るということにして、今から引き続きやるんだと思うんですが、協議会に諮りますと。これは繰り返しになります、12月7日の委員会の時点で、この特別委員会が実際に、4月に決めたように閉じられるのか閉じられないのかは、12月7日の結論を待たないと、12月7日に条例改正が必要な結論が出れば、とても難しいのかなど。現状維持ということになれば、4月で決めたとおりに閉じるのかもしれないということで、今後のスケジュールをきょう、12月で閉めるということを決めると、いろんな弊害が出てくると思いますので、協議会で再度諮る、きょうそれが行われるのかしれない。それ以降にもう一度スケジュール、閉める閉めないはそれ以降の協議と。私は、12月7日の結論が出ないと難しいのかなとは思いますが、いかがですか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 私も基本的にそれで全く、そういう進め方でいいと思いますよ。きょうの委員会の中では、今後のスケジュールは別途協議会で検討するというを決めた。その後の協議会の中でこれをやればいいと。ひろひで委員の考え方で私はいいと思います。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） ほかにありませんか。

（進行の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、スケジュール、今後のスケジュールについては、次の協議会で、次というのはこの委員会を閉じて次の協議会で行うということに賛成の方、挙手願います。

（賛成者挙手）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 全会一致と認めます。

続いて、それでは、議題の3、その他に入ります。

早川委員。

○早川直彦委員 1の講演会の関連なんです、小林先生の資料はまだ出てないですね。小林先生の資料も含め、これ、委員長、副委員長に一任して、当日印刷して配付するというのの一任をとっていただかないと、また委員会を開かないけないというのがまず1点。

第1部の議会報告会の進行は、正副委員長会を含めて1部、2部やっていますので、司会の進行とかは流れに、全体的に含めて正副委員長会で、定数・報酬にかかわる部分は一任していただきたいというのがもう一点。

もう一つが、この前の協議会で、デメリットの解消法を資料にするというふうにあったと思うんですが、きょうは机上配付されていないですが、これはもう資料になっているということでよろしいのでしょうか。

その3点、お願いします。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 1番目の小林先生の資料については、ここに配付されていないけども、配付されたものでよろしいかということですね、見てないわけだから。だから講演者……。

（発言する者あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それじゃ、資料については一任ということよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 2つ目、何て。

○早川直彦委員 第1部の進行、定数・報酬にかかわる第1部の進行を、正副委員長会のほうで流れを一任していただきたいんですが。

○山盛さちえ委員 ちょっと待ってください。いいですか。

最終的にはここでもまないといけないというほどのことではないというふうに私も思いますが、ただ、どういうふうにしていくのかということについては、おおよそ考え方みたいなものは、ちょっとお示しいただいたほうがいいかなと思うんですが、まだ全く協議してないと……。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） どういうふうにとというのは何がですか。

○山盛さちえ委員 進め方について、どんな感じになるかということのおおよそのイメージみたいなものぐらいは共有しておいて、あと細かいことは一任というふうに私はしてもらいたい。何でも一任という癖をつけないほうがいいかなという、そういう意味で。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、説明することにこしたことはありませんので、早川委員、説明してください。概略でいいよ。

○早川直彦委員 簡単に第1部、私が挨拶をして、杉浦委員長が小林先生の、こういう方ですよという簡単な説明をして、小林先生に説明をしていただくと。説明が終わって、残り10分とか多分短い時間になると思いますが、質疑の時間。そこで終わったらアンケートのお願いと、先ほどの資料の9の簡単な説明をするという流れになっております。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 流れを説明していただきましたが、よろしいですか。私、反復しませんが、皆さんが賛成していただいたというふうに思います。

それから、3つ目、何だったね。早川委員、3つ目をもう一度言ってください。

○早川直彦委員 よろしいですか。

この前、協議会のときに事務局がつくっていただいた、デメリットの解消法のこれを資

料にということだったので、きょうは机上配付されてないんですが、これはまだ資料でないということなんでしょうか。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） わかった、ごめんなさい。デメリットの解消方法については、それは資料になってませんね。資料になってなくて、あれじゃないですか、今度18日。18日じゃない、いつだったかね。

（27日の声あり）

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 11月27日に小林先生の考えを聞いてからより詳しくやるということですので、それを資料とするかせんかということはまた別の問題と思いますが、いずれにしても、まだ解消法については十分論議されていないということですね。いけませんか、その回答で。

早川委員。

○早川直彦委員 出たデメリットの解消法についての、こういう意見がありましたよという部分のまとめだと思いますので、資料にしてもこれは問題ないと思うんですが、こういう意見が出ましたよというのは事務局にまとめていただいたものですから、単純に。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 皆さん、どうですか。

前に配付しましたデメリットの解消法、事務局にまとめていただいたものを資料とする必要があるかないか。デメリットの解消法については、まだ11月27日に、自分の考えも含めてやらなくてはなりません、どうですか。御意見のある人、言ってください。

ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 私はこれ、資料としない。これ、まだ協議会で話し合いになる11月27日の資料であって、講演会の資料には。講演会の資料に出すということ、違う。

（委員会ですの声あり）

○近藤ひろひで委員 ごめん、じゃ、ちょっと……。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 委員会の資料としては、講演会後の全体のまとめの資料でいいんじゃないかなという気持ちはあるんですけど、あえて講演会をまたいで、講演会を通じて変わったというふうな、意見が変わった、考え方が深まったとかということのために残すということであれば、その前後関係がわかるような日付なんかを入れて残してもいいのかもしれないなという程度にしか思っていません。

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長（杉浦光男議員） それでは、皆さんに聞きます。前のデメリットの解消については、一人一人の気持ちというか考えも深まったところ、全体のものではありませんが、資料として残すか残さないか。

じゃ、資料として残したほうがいいと思う方、挙手願います。

(賛成者挙手)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) 資料ナンバー、幾つになるかちょっとわかりませんが、11かな、一応資料といたします。

(発言する者あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) そのほか、ありませんか。

(進行の声あり)

○豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員長(杉浦光男議員) じゃ、以上をもちまして、豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会を閉じます。

午前10時53分閉会